

第3回教育研究審議会

議事概要

日時 令和元年5月8日(水) 午後4時00分～5時10分

場所 本部棟3階 大会議室

出席者 福田誠治学長、阿毛久芳副学長、新保祐司副学長、深澤事務局長、小林重雄理事、西尾理学長補佐、平野耕一学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、樋口雄人学長補佐、加藤敦子国文学科長、Hywel Evans 英文学科長、山本芳美比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、竹島達也大学院研究科委員長、野中潤凶図書館長(兼)情報センター長、廣田健教職支援センター長、竹下勝雄地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、豊嶋朗子語学教育センター長、市原学入学センター長、矢嶋亘総務課長、石川和広経営企画課長、藤江隆学生課長

福田学長より挨拶

2 議 事

(1) 開講科目について(初教・学校・交換留学生)

担当から資料1に基づき説明。提案通り承認。

非常勤講師の担当科目について事務との行き違いで前期に登録があった科目が開けないこととなったため、登録学生に配慮しながら後期と集中へと開講を変更した。

交換留学生の科目について、コマ数変化は無く日本語中級を取り消し、日本語上級を追加する。

(2) 履修登録人数について

担当から資料2に基づき説明。提案通り承認。

・教務委員会において調整及び方法を考え、共通教育センターにおいては、適切な内容で必要な科目が適切に配置されているかどうか論議していただきたい。また、教務委員長と事務方で開講科目と履修登録人数についての改善に向けて分析をしていただきたい。

(3) 非常勤講師の授業担当科目について(取消第10・11回)

担当から資料3に基づき説明。提案通り承認。

(4) 非常勤講師の授業担当科目について(追加第14回)

担当から資料4に基づき説明。提案通り承認。

(5) 第2期中期計画にかかる平成30年度「年度計画」に対する実績について

担当から資料5-1,5-2に基づき説明。提案通り承認。

・第2期中期計画は、平成27年度から平成32年度(令和2年度)の6年間としている。各担当からまとめたものを様式に基づき、常任理事会、教育研究審議会、監査、理事会を経て

規則に定められた6月末日までに市へ提出する予定。なお、昨年地方独立法人法が改正され、中期目標の4年が経過した翌年に最終的な評価の予測値をだすことになっているため、その点についても後日取りまとめることとしている。第3期の指標について、ずっと低い評価の項目については少しでも向上できる表現等にしていくなど、今のうちから精査検討していきたい。

(6) その他

なし

3 報 告

(1) 大学評価実務説明会の参加報告について

○担当から資料6に基づき報告。

・2020年4月1日までに評価資料を提出し、9月から10月頃に実施調査を受けることになる。評価のポイントは「大学全体としての内部質保証に責任を負う組織の整備」及び学習成果の測定やこれを踏まえて教育改善を行う仕組みということであった。補足として、教職課程を持つ学科等について、単位制の趣旨に沿った措置が取られているかが重要であり、必ずしも年間上限を50単位未満にしなければならないということではない。との話しであった。

どのような視点での質保証をおこなっていくのか他大学の状況を調べ、本学に見合った組織にしていった欲しい。

4 その他

なし

以上